

令和 6 年度(2024 年度)用

小学校家庭科用

「新編 新しい家庭5・6
私がつくる みんなでつくる 明日をつくる」
年間指導計画作成資料
【5・6年】

令和 6 年（2024 年）1 月版

※題材ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などは、今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

大題材名	ガイダンス			教科書のページ	表 2～p.7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(1)ア

大題材の目標		第 4 学年までの学習や生活をふり返る中で自分の成長を自覚するとともに、家庭科に関心をもち、学ぶ内容や学び方、教科のねらいなどを理解し、見通しをもって 2 年間の学習に取り組もうとする意欲をもつ。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭科の目標や内容並びに家庭科の見方・考え方（家庭科の窓）や学び方を知り、これまでの自分の成長した点やそれを支えてきた家庭生活や家族の大切さに気付いている。
	思考・判断・表現	—
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、2 学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) 自分の成長を見つめよう ★他教科との関連: 特別活動、生活、社会、理科			
・第 4 学年までの学習と生活の中で家庭科に関連することを探してみよう。 教表 2	0.25	①教表 2 のイラストを参考にして、第 4 学年までの学習や生活の中で、できるようになったことなどを発表し合う。 ②また、家庭で行って家族に喜ばれたりした経験等を発表し合い、自分の成長を支えている家庭生活や家族の大切さに気付くことができるようにする。	[態度①] 発言・行動観察
(2) 2 年間の学習を見通して、知りたいことやできるようになりたいことを話し合ってみよう			
・2 年間の学習を見通し、知りたいことやできるようになりたいことを考え、話し合ってみよう。 教表 2～p.2、p.6～7	0.5	①教表 2～p.2 の目次により、学習内容を知る。 ②教p.6～7「成長の記録」などを参照しながら、家庭科で知りたいことやできるようになりたいことを考える。	[知技] 発言・行動観察 [態度②] 発言・行動観察
(3) 家庭科の学び方や見方・考え方（家庭科の窓）を知り、どのような自分を目指して学んでいきたいか発表し合おう			
・家庭科の学び方や見方・考え方（家庭科の窓）を知り、どのような自分を目指して学んでいきたいか発表し合おう。 教p.4～7	0.25	①やりたいことやできるようになりたいことを発表し合い、教p.4「学習の進め方」を参照して学び方を理解する。 ②また、教p.3「家庭科の窓」に示された生活の見方・考え方と自分の願いがどう関連しているのかを考える。 ③家庭科ではどのような自分を目指したいかを発表し合う。	[態度③] 発言・行動観察

* 「思考・判断・表現」の観点では、①課題を設定する力、②解決方法を検討し、計画、立案する力、③課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力、④課題解決の一連の活動について、考察したことを分かりやすく表現する力、に分けて評価規準を示しています。そのうち③や④については、題材をどう構成するかによって、発表や評価・改善の学習がステップ 2 に入ることもあり、それにともない、評価規準③や④がステップ 2 に入ることも考えて計画する必要があります。

* 「主体的に学習に取り組む態度」の観点では、①ねばり強さ、②自らの学習の調整、③実践しようとする態度、に分けて示しています。

大題材名	1. 私の生活、大発見！			教科書の ページ	p.12～19
配当時数	4 時間	活動時期	4 月	学習指導要 領の内容	A(2)アイ、B(2)ア(イ)

大題材の目標		家庭の仕事について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家庭には、家庭生活を支える仕事があり、互いに協力し分担する必要があることを理解している。
	思考・判断・表現	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に 取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) どのような生活をしているのかな			
生活を支える家庭の仕事を見つけて、課題を設定しよう。 教 p.12～13	1	①自分の 1 日の生活を見つめ、家族の存在や家族が協力して家庭の仕事を担って支え合っていることに気付く。 ②家庭の仕事分担について問題を見いだして、課題を設定する。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表①] 発言・記録
(2) 自分にできそうな家庭の仕事を見つけよう			★他教科との関連: 理科
家庭や家庭科室で使う用具を知り、その用具を使って活動してみよう。 教 p.14～18	2	①家庭科室の正しい使い方や、安全面の注意点を理解する。 ②家庭の仕事の道具の一つであるガスコンロの正しい使い方を知り、お茶をいれる。 ③協力してお茶をいれ、後片づけをする。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表②] 発言・記録 [態度①②] 発言・記録・行動観察
(3) できることを増やしていこう			
自分の仕事を見つけ、家族と協力して実行しよう。 教 p.19	1	①家族の一員として自分にできることを見つけて実践の計画を立てる。友達と交流して、見通しをもったよりよい実践計画に改善する。	[思判表③④] 発言・記録 [態度③] 発言・記録・行動観察

大題材名	2. ゆでる調理でおいしさ発見			教科書のページ	p.20～27
配当時数	6 時間	活動時期	5～6 月	学習指導要領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ

大題材の目標		ゆでる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	おいしくゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)調理の目的や手順を考えよう			
・調理の目的や手順を考えて、課題を設定しよう。 教 p.20～21	1	① 教 p. 20 の写真を見て、材料をどのような方法でおいしく食べているかを話し合う。 ②調理の手順や気を付けることなどを話し合い、ゆでる調理についての課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)ゆでる調理をしよう			★他教科との関連:社会
・青菜とじゃがいもの調理を通して、おいしくゆでる調理のポイントをつかもう。 教 p.22～25	4	①青菜とじゃがいものゆで方を、実習しながら比べる。ゆで方のちがいやゆでる前とゆでた後の変化に特に注目する。 ②前回の学習で分かったことや疑問に感じたことを生かして、もう一度ゆでる調理をする。そこからゆでる調理のポイントを確実につかむ。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3) ゆでる調理の計画を立てて実践しよう			
・学習したゆでる調理のポイントを生かして、ゆでる調理の計画を立てよう。 教 p.26～27	1	①これまでの学習を生かして、家庭で実践する野菜やいものゆでる調理の計画を立てる。 ②楽しく食べるために必要な食事のマナーについて話し合う。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	3. ひと針に心をこめて			教科書のページ	p.28～34
配当時数	9 時間	活動時期	7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(イ)、 B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、健康・快適・安全の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	手ぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)針と糸を使ってできること			
・針と糸を使ってできることを見つけ、課題を設定しよう。 教 p.28	1	①針と糸を使ってできることを自分の家庭生活とも関連付けながら見つけて話し合う。 ②糸と針を使って何ができるか、どのように手縫いで製作するかなど問題を見だし、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)手ぬいにトライ！		★他教科との関連:図画工作	
・玉結び・玉どめ・なみぬい・返しぬい・かがりぬい・ボタン付けが正しく安全にできるようになろう。 教 p.29～33	7	①裁縫用具の名前や安全な扱い方を考える。 ②玉結び・玉どめ・ボタン付け・なみぬい・返しぬい・かがりぬいについて、各技能を理解する。 ③目的に応じたぬい方を考える。 ④小物製作について、手順を考えながら計画を立てる。 ⑤小物を製作する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)手ぬいのよさを生活に生かそう			
・手ぬいのよさを生かしてやってみたいことを考え、計画しよう。 教 p.34	1	①ステップ1、2の学習をふり返り、交流する。 ②今後、自分の生活に生かせそうなことを考える。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	4. 持続可能な社会へ 物やお金の使い方			教科書のページ	p.36～43
配当時数	6 時間	活動時期	9 月	学習指導要領の内容	C(1)ア(ア)(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		物や金銭の使い方と買い物について、持続可能な社会の構築などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1) よりよく選ぶために考えよう			
消費者の役割とは何か考えよう。物を手に入れるためのいろいろな方法を見つけ、課題を設定しよう。 教 p.36～37	1	①教 p.36 導入イラストを参考に、私たちはどのように物と関わって生活しているのかを考える。 ②消費者の役割について考える。 ③どのような方法で必要なものを手に入れるのかについて考え、消費行動の問題を見だし、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2) 買い物について考えよう			
目的に合った選び方、買い方ができるようになろう。 教 p.38～41	4	①買い物の中で契約が成立する場面を考える。 ②買い物の方法や支払いの方法を考える。 ③買い物をするとき、何をどのように選ぶか、買い方の手順を考える。 ④買い物の場面を想定して、情報を集め、整理し、何を選ぶかを決める。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3) 持続可能な社会をつくろう			
上手な物の選び方、使い方の学習を生かして、環境に配慮した生活を工夫しよう。 教 p.42～43	1	①消費者として持続可能な生活について、買い物と環境との関わりを知る。 ②自分らしい持続可能な生活の工夫を、カードなどにまとめて発表したり、発信したりする。	★他教科との関連: 社会、理科 [思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	5. 食べて元気！ご飯とみそ汁			教科書のページ	p.44～53
配当時数	10 時間	活動時期	10～11 月	学習指導要領の内容	B(1)ア、 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(オ)イ、 B(3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)毎日の生活を見つめよう			
毎日の食事をふり返り、どのような物を食べているのかを考え、課題を設定しよう。	1	①教 p.44 の写真の料理にはどのような食品が使われているのかを考え、何のためにいろいろな食品を組み合わせで食べているのかを話し合う。また、ご飯とみそ汁の作り方や食事の必要性について、これから学んでいくことを知り、課題を設定するとともに学習の見通しを立てる。	[思判表①]発言・記録
(2) ご飯とみそ汁を調理して、食事について考えよう ★他教科との関連:社会、理科、体育			
伝統的な日常食であるご飯とみそ汁を作ろう。また、食事の役割や栄養バランスを考えよう。	8	①米やみそについて知り、ご飯のたき方を調べる。 ②ご飯をたきながら、たかれている様子を観察する。 ③だしについて知り、みそ汁の作り方を調べる。 ④計画に沿って、みそ汁を調理する。 ⑤栄養素の種類と働きについて知る。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表①②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)食生活を工夫しよう			
ご飯やみそ汁の調理で身に付いたことを家庭生活に生かそう。	1	①調理実習をふり返り、ご飯とみそ汁をおいしく作るためのポイントを話し合う。 ②学んだことを生かして、「わが家のとっておきのみそ汁」を考える。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	6. 物を生かして住みやすく			教科書のページ	p.54～61
配当時数	7 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(6)ア(イ)イ、C(2)アイ

大題材の目標		気持ちのよい住まい方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、住まいの整理・整とんや清掃の仕方、環境や資源を大切に物の使い方などを考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの整理・整とんや清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	住まいの整理・整とんや清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見い出して課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)身の回りや生活の場を見つめよう			
身の回りを整えることのよさや必要性について考え、課題を設定しよう。 教 p.54～55	1	①扉の写真を見て、思ったことを話し合う。また、困ることは何か、どう改善したらよいかを話し合い、整理・整とんや清掃に係る課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)身の回りをきれいにしよう			
整理・整とんや掃除の必要性が分かり、それらの適切な仕方を考え、手順に沿って実践しよう。 教 p.56～59	5	①手順に沿って道具箱の整理・整とんをし、工夫したことを話し合う。 ②学校内の汚れを調べて記録する。 ③その記録を基に毎日のそうじの問題点や改善点を話し合う。 ④調べたことをもとに手順に沿って、教室や家庭科室を掃除する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)物を生かして快適に生活しよう			
これまでに学習したことを生かして気持ちよく生活するための計画を立てよう。 教 p.60～61	1	①自分の地域ごみの出し方の決まりを調べてまとめる ②学習したことを下級生に伝え、学校や家庭、地域で活用する計画を立てる。	★他教科との関連:社会 [思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	7. 気持ちがつながる家族の時間			教科書のページ	p.62～64
配当時数	2 時間	活動時期	12 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(ア)イ

大題材の目標		家族との関わりについて、家族の協力などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。
	思考・判断・表現	家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族とふれ合う時間を見つけよう			
・家族とふれ合う時間の楽しみ方を見つけて、課題を設定しよう。 教 p.62	0.5	①教 p.62 の4つのイラストに描かれた家族のふれ合いや団らんの様子を見ながら、団らんのよさを見つける。また、自分の家庭をふり返り、問題を見つけて課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2) わが家流団らんタイムを計画しよう			
・団らんの計画を立て、工夫してみよう。 教 p.63	1	①「わが家流団らんタイム」の計画を考え、実践する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)団らんを生活の中に生かそう			
・楽しくなごやかな時間を過ごす工夫をして、生活の中で実践しよう。 教 p.64	0.5	①友達の工夫やアドバイスを参考に、さらに豊かな家庭生活にするために、家族とのつながりを深める工夫をする。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

生活の課題と実践	生活を変えるチャンス！ ① ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書のページ	p.65～67
配当時数	3時間	活動時期	12 月～1 月	学習指導要領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の観点別評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
・家庭の仕事や家族の人々との関わりについて身近な日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定しよう。	1	①成長の記録を見て、これまでに学習したことをふり返り、家庭の仕事や家族の人々との関わりについて自分の生活を見直す。 ②成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、生活の問題を見つける。 ③家庭科の窓を参考にどうすれば生活の問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てよう			
・課題を解決するための計画を立てよう。	1	①課題を解決するための家庭実践の計画を立てる。（実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など） ②友達や家族など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。	[思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)家庭で実践しよう			
・計画に沿って実践し、家族から感想をもらおう。	家庭での時間	①計画に沿って、実践する。 ②実践したことについて、家族など周りの人から感想を聞く。 ③できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。	
(4)実践をまとめて、発表しよう			
・実践したことを相手に伝えるようにまとめて発表しよう。 （※発表は、全体交流、グループ交流、ポスター発表など実態に合わせて行うとよい。）	0.7	①実践レポートをもとに、相手に伝えるように工夫してまとめる。 ②自分の実践を発表する。 ③発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。	[思判表③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(5)友だちの感想などを参考に改善点を考えよう			
・友達や家族など周りの人の感想を参考に、実践を評価・改善しよう。	0.3	①友達や家族など周りの人の感想を参考に、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。 ②新たに挑戦したいことを考える。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録

大題材名	8. ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活			教科書のページ	p.68～78
配当時数	11 時間	活動時期	1～3 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	ミシンぬいによる目的に応じたぬい方及び用具の安全な取り扱い、製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)ミシンぬいのよさを見つけよう			
・身の回りの布製品を見つめ、ミシンでぬわれた物の特徴を見つけて、課題を設定しよう。 教 p.68～69	1	①体育着袋や手さげなど、生活で使っている布製品を観察し、分かったことを話し合う。 ②手ぬいと比べるなどして、ミシンぬいの特徴を理解するとともに、ミシンぬいによる製作について問題を見つけ、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)ミシンにトライ！			
・安全なミシンの使い方を身に付け、計画を立てて生活に役立つものを作ろう。 教 p.70～77	9	①ミシンの各部の名前を覚えながら、正しいミシンの使い方や気を付けることを考える。 ②安全に気を付けながら、ミシンの使い方を練習する。 ③製作する物を決める。 ④材料や手順を考えて計画を立てる。 ⑤製作する。授業の終わりには、毎回、ふり返りをする。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)世界に一つだけの作品を楽しく使おう			
・手ぬいやミシンぬいのよさに気付き、作品やぬい方を生活に生かそう。 教 p.78	1	①製作した作品を友達と見せ合い、どのように生活に役立たせるか、生活を楽しくできるかを話し合う。 ②友達の作品を参考にするなど、これまでの学習を生かしたミシンぬいによる製作物を考える。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	9. 見つめてみよう生活時間			教科書のページ	p.80～83
配当時数	2 時間	活動時期	4 月	学習指導要領の内容	A(2)アイ

大題材の目標		生活時間について、家族との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、家族の一員として、生活時間の使い方を考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	生活時間の有効な使い方について理解している。
	思考・判断・表現	生活時間の有効な使い方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活時間の有効な使い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)生活時間を見つめてみよう ★他教科との関連:体育、道徳			
・ 1 日の生活時間を調べ、課題を見つけよう。 教 p.80～81	0.5	①時間軸で自分の生活を書き出して、協力の視点で見直し、課題を見つけ、工夫できることを考える。	[思判表①]発言・記録
(2)生活時間を工夫しよう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫しよう。 教 p.81～82	0.5	①生活時間の有効な使い方について理解し、自分の課題についてさまざまな方法で工夫する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)生活時間を有効に使おう			
・ 生活時間の有効な使い方を工夫して、生活に生かそう。 教 p.83	1	①友だちの工夫や家族へのインタビューを参考に、自分や家族「すてき時間作戦」を考え、友達と交流する。 ②家庭での実践に向け、生活時間の有効な使い方を工夫・改善する。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	10. 朝食から健康な1日の生活を			教科書のページ	p.84～91
配当時数	10 時間	活動時期	4～5 月	学習指導要領の内容	B(1)ア、 B(2)ア(ア)(イ)(ウ)(エ)イ、 B(3)ア(ア)(イ)

大題材の目標		朝食の役割と栄養、いためる調理について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、調理計画を考え、いためる調理の仕方を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	食事の役割と栄養を考えた食事について理解しているとともに、いためる調理について理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	食事の役割と栄養を考えた食事、いためる調理について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割と栄養を考えた食事、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)朝食の役割を考えよう			
毎日の生活をふり返り、朝食の役割を考えて、課題を設定しよう。 教 p.84～85	1	①教 p. 84 の写真Aさんの3日間の朝食から、よい点や課題点を話し合い、朝食の役割について考える。 ②自分の朝食のとり方のとり方をふり返り、課題を見つけ、これからめざす朝食のとり方を考える。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表①]発言・記録
(2)いためる調理で朝食のおかずを作ろう			
いろいろな食品のいため方が分かり、栄養のバランスを考えた朝食のおかずを計画し実践する。 教 p.86～90	7	①教 p. 86 活動2の2つの朝食の写真を見て、どちらの食事がよいか話し合い、主にどのような働きをする食品が含まれているか調べ、3つのグループに分けて栄養のバランスを考える。 ②栄養のバランスがよい食事について考える。 ③材料に応じた切り方、いためる順序、火加減を調べ、調理計画カードに記入し、いためる調理の計画を立てる。調理をする前に手順を確かめながら計画を見直す。 ④切り方、いためる順序、火加減に注目していためる調理をする。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)朝食から健康な生活を始めよう			
朝食の学習を生かし、健康な生活を送るために家庭で朝食の計画を立てよう。 教 p.91	2	①調理実習をふり返り、計画通りに進められたか、切り方やいためる順序、火加減や味付けなど、うまくいった点や課題点について話し合う。 ②学習したことを生かして、ご飯とみそ汁に付け足す朝食のおかずの計画を考える。使う食材や調理のポイントをまとめて計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	11. 夏をすずしくさわやかに			教科書のページ	p.92～101
配当時間	8 時間	活動時期	6～7 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)(イ)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		夏の快適な住まい方や衣服の着方と手入れについて、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、夏を涼しく快適に過ごすための住まい方や着方・手入れについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方について理解しているとともに、日常着の手入れの仕方を理解し、適切にできる。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた夏の住まい方や衣服の着方と手入れの仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用と手入れについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)夏の生活を見つめよう ★他教科との関連: 社会			
・夏の生活の特徴から、工夫していることを見つけ、課題を設定しよう。 教 p.92～93	1	①イラストや生活経験をもとに、夏の気候や生活の特徴や工夫点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習の見通しをもつ。 ③夏を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表①]発言・記録
(2)すずしくさわやかな住まい方や着方をしよう ★他教科との関連: 理科、体育			
・夏に快適に過ごすための住まい方や衣服の着方、手入れの仕方を知り、できるようになろう。 教 p.94～99	6	①調べた夏の生活の工夫を発表する。 ②気温、湿度、風通し、騒音について調べ、健康・快適・安全の視点で、生活の問題を解決するための最適な方法を考える。 ③健康・快適で安全な着方を考える。 ④家庭で調べた衣服の手入れの工夫を発表する。 ⑤衣服を気持ちよく、長く利用するための方法を調べて交流する。 ⑥手洗いの仕方を調べ、手順に従って洗濯をする。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)夏の生活を工夫しよう ★他教科との関連: 理科			
・学習したことを、夏の生活の住まい方や衣服の着方、手入れの改善に活用しよう。 教 p.100～101	1	①学習したことを生かして学校でできる暑さ対策を話し合う。 ②わが家で夏を健康で快適に過ごすための着方や住まい方の工夫を考えて計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	12. 思いを形にして生活を豊かに			教科書のページ	p.102～111
配当時数	14 時間	活動時期	9～11 月	学習指導要領の内容	B(5)ア(ア)(イ)イ

大題材の目標		生活を便利で豊かにするための布を用いた製作について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、目的に合った製作計画を考え、製作を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。
	思考・判断・表現	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいやミシンぬいによる製作について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいやミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)目的に合った形や大きさ、ぬい方を考えよう			
目的に合ったふくろなどを製作するために必要なポイントを考えて、課題を設定しよう。 教 p.102～103	1	①身の回りにある布製品を観察し、便利で長く使うための工夫について考える。 ②作りたいふくろやカバーをイメージして図に表し、目的に応じた製作をするための問題を見だし課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てて、工夫して作ろう			
目的に合った布作品の製作計画を立て、安全に製作しよう。 教 p.104～109	12	①身近にあるふくろなどを観察して、出し入れしやすくするためのゆとりについて話し合い、目的に合った形や大きさを考える。 ②製作計画を立てる。 ③製作の途中で、製作計画や作品を友達と見せ合い、工夫できることについて話し合う。 ④製作計画に沿って、安全に注意し、工夫しながら布作品を製作する。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)衣生活を楽しく豊かにしよう			
製作を通して学んだことを生かして、生活を豊かにする計画を立てよう。 教 p.110～111	1	①使い心地や贈った相手に聞いた感想を報告し合い、工夫することのよさに気付く。 ②生活を豊かにする布作品の提案について意見交換し、製作計画を立てる。	[思判表③④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

大題材名	13. まかせてね今日の食事			教科書のページ	p.112～120
配当時数	10 時間	活動時期	11～12 月	学習指導要領の内容	B(1)イ、B(2)イ、 B(3)ア(ア)(イ)(ウ)イ、 C(1)ア(ア)(イ)イ、 C(2)アイ

大題材の目標		栄養を考えた食事について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、1 食分の献立と環境に配慮した調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、栄養のバランスを考えた 1 食分の献立を工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。
	思考・判断・表現	1 食分の献立の栄養のバランスや買い物の仕方、環境に配慮した調理の仕方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、栄養を考えた食事や買い物、環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)献立の立て方を考えよう ★他教科との関連:社会・体育			
・1 食分の献立を立てるときに必要なことを考え、課題を設定しよう。 教 p.112～113	1	①教 p. 112 の写真を見て、献立はどのように考えて立てられているのか話し合い、1 食分の献立が立てられるようにするための課題を設定する。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表①] 発言・記録
(2)1食分の献立を立てて、調理しよう ★他教科との関連:社会			
・1 食分の献立を立て、環境に配慮して調理しよう。 教 p.114～119	8	①いろいろな食品を使って主食をご飯とし、主菜・副菜・汁ものを組み合わせて栄養のバランスがとれた 1 食分の献立を考える。 ②必要な材料・分量、用具、手順を調べて調理計画を立てる。環境への影響も考える。 ③買い物の仕方について考え、材料の準備をする。 ④おかず作りの調理実習を行い、計画通りできたか、環境に配慮して調理できたかふり返る。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表②] 発言・記録 [態度①②] 発言・記録・行動観察
(3)工夫してよりよい食事にしよう			
・よりよい食事にするための工夫について考えよう。 教 p.120	1	①これまでの学習を生かして、よりよい食事をするために工夫できることについて考える。	[思判表③④] 発言・記録 [態度③] 発言・記録・行動観察

生活の 課題と実践	生活を変えるチャンス！ ② ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書の ページ	p.121
配当時数	3時間	活動時期	12 月～1 月	学習指導要 領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
・家庭の仕事や家族の人々との関わりについて身近な日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定しよう。	1	①成長の記録を見て、これまでに学習したことをふり返り、家庭の仕事や家族の人々との関わりについて、自分の生活を見直す。 ②成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、生活の問題を見つける。 ③家庭科の窓を参考にどうすれば生活の問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)計画を立てよう			
・課題を解決するための計画を立てよう。	1	①課題を解決するための家庭実践の計画を立てる。（実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など） ②友達や家族など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。	[思判表②]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)家庭で実践しよう			
・計画に沿って実践し、家族から感想をもらおう。	家庭での時間	①計画に沿って、実践する。 ②実践したことについて、家族など周りの人から感想を聞く。 ③できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。	
(4)実践をまとめて、発表しよう			
・実践したことを相手に伝えるようにまとめて発表しよう。 (発表は、全体交流、グループ交流、ポスター発表など実態に合わせて行うとよい。)	0.7	①実践レポートをもとに、相手に伝えるように工夫してまとめる。 ②自分の実践を発表する。 ③発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。	[態度①②]発言・記録・行動観察、 [思判表③]発言・記録
(5)友だちの感想などを参考に改善点を考えよう			
・友達や家族など周りの人の感想を参考に、実践を評価・改善しよう。	0.3	①友達や家族など周りの人の感想を参考に、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。 ②新たに挑戦したいことを考える。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録

大題材名	14. 冬を明るく暖かく			教科書のページ	p.122～127
配当時数	5 時間	活動時期	1～2 月	学習指導要領の内容	B(4)ア(ア)イ、 B(6)ア(ア)イ

大題材の目標		冬の快適な住まい方や衣服の着方について、健康・快適・安全などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、冬を暖かく快適に過ごすための住まい方や着方について考え、工夫することができる。
大題材の 観点別 評価規準	知識・技能	住まいの働きや季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について理解している。
	思考・判断・表現	季節の変化に合わせた冬の住まい方や衣服の着方について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や衣服の着用について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)冬の生活を見つめよう			★他教科との関連: 社会
冬の生活の特徴から、工夫していることを見つけ、課題を設定しよう。 教 p.122～123	1	①教 p. 122 導入イラストや生活経験をもとに、冬の気候や生活の特徴と問題点を出し合い、自分の生活の問題点に気付く。 ②問題点をもとに、解決すべき課題を設定し、学習計画を立てる。 ③冬を快適に過ごす工夫を家庭で調べる。	[思判表①] 発言・記録
(2)暖かい着方や住まい方をしよう			★他教科との関連: 理科、体育
寒い季節に快適に過ごすために衣服の着方や住まい方ができるようになる。 教 p.124～126	3	①暖かさの実験を行い、衣服の暖かい着方の仕組みを理解する。 ②暖房器具の特徴や健康・安全を考えた使い方を調べる。 ③健康を考えた効果的な換気の仕方を調べ、そのよさについて話し合う。 ④教室や廊下の暖かさと明るさを調べる。 ⑤測定結果をもとに、日光の利用の仕方を考える。	[知技] 発言・記録・行動観察 [思判表②] 発言・記録 [態度①②] 発言・記録・行動観察
(3)冬の生活を工夫しよう			
これまで学習したことを生かして、自分の生活を見直し、冬の着方や住まい方の工夫を計画しよう。 教 p.127	1	①学習したことを生かして学校でどのようなことができるのか話し合う。 ②教 p. 127 活動4のイラストの男の子の課題を見つけ、どのようなアドバイスをするのかを考える。 ③自分の家庭でできる健康で快適な生活の計画を立てる。	[思判表③④] 発言・記録 [態度③] 発言・記録・行動観察

大題材名	15. あなたは家庭や地域の宝物			教科書のページ	p.128～133
配当時数	2 時間	活動時期	2～3 月	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ)イ

大題材の目標		家族や地域の人々との関わりについて、家族や地域の人々との協力などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身に付け、よりよい関わりについて考え、工夫することができる。
大題材の観点別評価規準	知識・技能	家庭生活は地域の人々との関わりで成り立っていることが分かり、地域の人々との協力が大切であることを理解している。
	思考・判断・表現	家族や地域の人々との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)家族や地域の一員として			★他教科との関連:道徳
自分の家庭生活と地域の人々との関わりについて考え、課題を設定しよう。 教 p.128～129	0.5	①教 p. 128 導入イラストを見て、自分の生活と地域の人々との関わりについて考える。 ②教 p. 129 活動 2 を参考に、協力、持続可能な社会の視点から、家族や地域の一員としての自分の生活を見直し、地域の人々との関わりについて考え、課題を設定する。	[思判表①]発言・記録
(2)私から地域につなげよう！広げよう！			
2 年間の学習を生かして、地域や家庭をよりよくする工夫を考えよう。 教 p.130～131	1	※目次や教 p. 6 成長の記録を活用し、成長をふり返る。 ①地域や家庭をよりよくする工夫についてさまざまな解決法を考え、2 年間の学習を生かして、実践計画を立てる。 ②発表交流会をして、実習をふり返り、評価すると共に地域や家庭をよりよくしていくためにどのようなことを考えて工夫すればよいかを考える。	[知技]発言・記録・行動観察 [思判表②③]発言・記録 [態度①②]発言・記録・行動観察
(3)もっとかがやくこれからの私たち			★他教科との関連:社会
家庭科で学んだことを、持続可能な社会をつくるために生かしていこう。 教 p.132～133	0.5	①実践をふり返り、評価するとともに、よりよい生活・持続可能な社会を作っていくために家庭や地域で工夫できることを家庭科の窓（見方・考え方）を生かして考え、意見交流をする。	[思判表④]発言・記録 [態度③]発言・記録・行動観察

生活の 課題と実践	生活を変えるチャンス！ ③ ※この A(4)アの内容は、2 学年間で一つ又は二つの課題を設定して履修させるものです。各学校の指導計画に沿って、どの時期に実施するか決定の上、進めてください。			教科書の ページ	p.134
配当時数	3時間	活動時期	2 月～3 月	学習指導要 領の内容	A(4)ア

生活の課題と実践の目標		学習したことを生かして、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生活の営みに係る見方・考え方を働かせて、よりよい生活を考えて、計画を立てて実践することができる。
生活の課題と実践の 観点別 評価規準	知識・技能	—
	思考・判断・表現	家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。
	主体的に学習に取り組む態度	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家庭の仕事又は家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、家庭や地域などで実践しようとしている。

目標	時数	学習活動	評価の観点と方法
(1)課題を設定しよう			
・家庭の仕事や家族、地域の人々との関わりについて身近な日常生活の中から問題を見いだして、課題を設定しよう。	1	① 5・6 年生で学習したことをふり返り、自分や家族、地域の人々との生活を見直す。 ② 成長の記録を見て、もっとよくしたい点、挑戦したいことなど、身近な生活の問題を見つける。 ③ 家庭科の窓を参考にどうすれば問題をよりよく工夫できるか考え、課題を設定する。	[思判表①] 発言・記録
(2)計画を立てよう			
・課題を解決するための計画を立てよう。	1	① 課題を解決するための実践の計画を立てる。（実践レポートの目的、方法、手順、実践の時期、必要な材料や道具など） ② 友達や家族、地域の人々など周りの人の意見を参考に計画を工夫する。	[思判表②] 発言・記録 [態度①②] 発言・記録・行動観察
(3)家庭や地域、学校などで実践しよう			
・計画に沿って実践し、家族や地域の人々など周りの人から感想をもらおう。 (※学校で実践する場合は、他教科等の活動と組み合わせて行うとよい。)	家庭や 地域、 学校な どでの 時間	① 計画に沿って、実践する。 ② 実践したことについて、友達や家族、地域の人々など周りの人から感想を聞く。 ③ できたこと、できなかったこと、さらに工夫したいことなどを実践レポートにまとめておく。	
(4)実践をまとめて、発表しよう			
・実践したことを相手に伝えるようにまとめて発表しよう。 (※発表は、全体交流、グループ交流、ポスター発表など実態に合わせて行うとよい。)	0.7	① 実践レポートをもとに、相手に伝えるように工夫してまとめる。 ② 自分の実践を発表する。 ③ 発表した内容について友達と意見を交流し、実践のよさや課題、友達の発表のよさをメモする。	[態度①②] 発言・記録・行動観察、 [思判表③] 発言・記録
(5)友だちの感想などを参考に改善点を考えよう			
・友達や家族、地域の人々など周りの人の感想を参考に、実践を評価・改善しよう。	0.3	① 友達や家族、地域の人々など周りの人の感想を参考に、自分の実践を評価し、よさと改善点を考える。 ② 新たに挑戦したいことを考える。	[思判表④] 発言・記録 [態度③] 発言・記録